

平成 30 年度 日本臨床工学技士連盟 理事会議事録

日時：平成 31 年 3 月 2 日（土）14：00～16：00

場所：熊本国際交流会館

出席者：肥田泰幸 小林剛志 田村守啓 熊谷誠 浦波智 関川智重 山下芳久

安部貴之 長尾尋智 高山享 小峠博揮 山田佳央 小林力

欠席者：門田明正 高橋満彦 五条敏和 三井友成 山崎康祥

オブザーバー：大塚紹

1. 開会（田村事務局長）

これより平成 30 年度日本臨床工学技士連盟理事会を開催する。

2. 理事長挨拶（肥田理事長）

設立より 6 年経過しこれからが正念場になる。医師のタスクシフティングに臨床工学技士が活躍できるような成果を上げられるよう、皆様のご協力を頂きたいと思っております。

3. 議案

(ア) 決算報告及び予算案（田村事務局長）

① 平成 30 年度活動報告

- ・ 政治セミナーは 30 回ほど出席でき今年の 2 倍ほどであった。
- ・ PR 活動や懇親会へも連盟役員をはじめ日臨工理事や東京都技士会 30 人の協力をもらい団体としてアピールすることができた。
- ・ 5 月には議員連盟を設立することができ会員数の一時的な増加もあったが全体としては緩やかな伸び率であった。
- ・ ブロック大会や各都道府県学術大会で肥田理事長より啓蒙活動を行ってきたが、若い年齢層の関心の低さや入会のメリットが実感できないなど連盟活動の重要性が認識されていない。
- ・ 今年の参議委員通常選挙では協力要請があるので準備を早めに行う。
- ・ 連盟新聞の発行とともに年会費の領収書発行を会員へ郵送した。

② 平成 30 年度会計決算報告及び会計監査報告（資料参照）

収入の部： カード会員・SmartPit 会員収入、寄付金収入で

¥4,178,067 となった。

支出の部： 管理費(会議諸費・旅費交通費・通信費・事業費・参加費・

備品消耗品費)で ¥3,276,731 となった。

当期収支差額と前期繰越で次期収支繰り越し差額は¥2,349,042 となった。

監査報告 (高山監事)

平成 30 年度 適正な運営と判断し、理事会にて収支報告が承認された。

③ 平成 31 年度予算及び活動方針 (案)

予算案 (田村事務局長)

会費収入 1,900 名で ¥5,700,000 を収入目標としている。

支出は、管理費 (会議諸費・旅費交通費・通信費・事業費・参加費・備品消耗品費)として ¥4,615,000 としている。

活動方針 (肥田理事長)

- ・ 会費の増額で運用資金に増加はあったが現状の余裕はなく、引き続き余裕がある状態を目標とし会員増加の強化に各担当ブロック代表者に協力を要請する。(肥田理事長)
- ・ 日臨工組織強化委員会の中での話だが、入会意義がないと言う会員もおりメリットを求められるけど、職能団体の意味への理解が各都道府県技士会三役でもなされてなく自分たちの仕事を発展させるという教育がなされていなかったことに対して現在プログラムを作成中である。(小林副理事長)
- ・ 技士会は学術色としての理解が強く、職能団体としてちゃんと理解されていないので職能の意味を公報啓発し各都道府県レベルで会員に周知することが必要であり、職務を維持発展していくための手法として政治家や行政にアプローチが必要となってくる。(高山監事)
- ・ 議員懇談会の話の中で、行政を推したとしても医療系 17 職種は皆同様に扱われ、圧力が強い医師・看護師などの団体ほど意見が通りやすい。通らないところは国会議員から発言してもらうことで議論を進めてもらうのが正攻法だが、臨床工学技士は他団体と比べ 30 年遅れている。(小林副理事長)

(イ) 総務 (田村事務局長)

① 岩手大会の計画について

- ・ 会員入会に向けブースの設置し多数の方に来てもらうよう企画する。
- ・ ピンバッチの作成の検討。

② 総会の開催案について

- ・ 平成 31 年 5 月 17 日（金）12:30～14:30 アイーナ岩手
- ・ 段取りについては田村事務局長、熊谷理事、関川理事で準備する。

③ 規約および組織運営規定の改定について

- ・ 規約の確認し 5 月の総会で承認を取る方向性とする。

(ウ) 組織（小峠理事）

① 組織数の現状と今後について

- ・ 会員数 1781 名で有効会員数 1504 名となりその差が未払者である。

② 都道府県のイベント時の啓発対応について

- ・ 各都道府県技士会ホームページの連盟バナーの掲載状況より、不掲載の技士会については各担当ブロックより技士会役員へ啓蒙する。
- ・ 岩手大会でのワークショップ開催日と連盟ブースへの集客について時間的配慮が必要だったため、今後の検討へつなげる。(小林相談役)
- ・ 連盟活動のメリットとして公務員の定員増へつながることを組み入れる。(長尾理事)
- ・ 実際に感じるメリットとして目に見えるピンバッチとかは有効と思うが、会員として連盟の活動の流れが新聞の文章より視覚的に良く判る手法が有効と思う。(阿部理事)
- ・ 病院での診療科診療部の表示において、臨床工学の掲載がないので病院での地位確立もメリットではないか。(小林相談役)
- ・ 一つの方法として、都道府県単位で入会者数によって年会費を段階的に軽減し、全員入会を前提として反対者だけ事前に申請してもらう方法もあるが、入会に逆効果ともなりかねないため慎重に検討する必要がある。行き着く先は教育と啓発しかない。(肥田理事長)

(エ) 渉外（小林副理事長）

① 昨年度活動報告と今年度の計画について

- ・ 政治パーティーへ参加について、東京都技士会からの協力で 30 人の参加を得られ、一般の会員と出席し政治パーティーへのイメージを良くしたことで、若い人達からも興味を引き横のつながりを引っ張り上げ、動員しやすい体制づくりにつながった。各都道府県の技士会では、連盟に参加いただいている議員の先生に選挙だけではなく常に顔をつなぐ。顔をつなぐには肩書きではなく、常に同じ人が行き顔を覚えてもらうのが非常に効果的である。電話やメールではなく、実際に時間を使って会いにいき顔を覚えてもらうとその方とのパイプが太く

なる。(小林副理事長)

- ・ 議員連盟役員会では日臨工常任理事も16名中15名の参加いただき連帯感が生まれる中、短い時間ながらも議員側から要点をまとめられた意見や的確な質問が議論され、非常に効率的で密度の濃い時間を共有でき、このような会から実現されていくのだと強く実感した。(山下理事)
- ・ 同じく議員連盟役員会では、通常ではお会いできない先生の方々からお話を聞くことができ、具体的なスケジュールもうかがえることで、実現化への見通しを感じた。(大塚オブザーバー)
- ・ 渉外として目指すところは医師の業務のタスクシフトが一番の目標であり、診療報酬と国立病院に働く臨床工学士の待遇改善の3つで交渉を進めている。(肥田理事長)
- ・ 日臨工で5つ掲げているので統一した方が良い。(高山監事)
- ・ 誰がどこに活動に行ったか掲示板に上げる。**簡単な報告の記載をお願いする** (小林副理事長)
- ・ 臨床工学技士は行政立法で設立し、業務を変えるのに議員立法を使えばいくらでもできるということであるので連盟の活動が大事であるということを周知徹底させる。(小林相談役)
- ・ 救急集中治療領域における診療補助行為の提供、その他領域における診療補助行為の提供、在宅医療の診療補助行為、薬剤の投与、患者急変時の対応ということで医師業務のタスクシフトです。(肥田理事長)
- ・ 解釈の仕方では法改正をしなくても可能になる行為はあり、さらに臨床工学技士が病気の判断をやってはいけないが、医師との信頼関係の中で行う行為は法には問われないという話もあった。しかし、全てに適応はできないのでちゃんと文章で落とし込まなければならない。(小林副理事長)
- ・ 救急救命士が議連の勉強会を行い、運ばれた先の救急室で医療行為ができるようするという話題が出ており、臨床工学技士との力関係ができると予測される。(肥田理事長)

(オ) 選対 (長尾理事)

- ・ 国会議員秘書より説明があった通りに参議委員選挙では投票時には個人名を書く (田村事務局長)
- ・ 参議院選挙の全国区では木村義雄議員を推薦する話を、4～6月に開

催される各都道府県技士会総会で、話す機会を作りたいので日程のスケジュールを把握し企画を進める。(肥田理事長)

(カ) 学修 (山崎理事)

- ・ 2018 年日本臨床工学会で本田宏先生に連盟企画でご講演いただく。
(田村事務局長)

(キ) 広報広報 (三井理事)

- ・ 2018 年連盟新聞・メールマガジン発行 5 回配信。2019 年連盟新聞冬号と領収書同封で会員へ発送。(田村事務局長)

(ク) 青年 (山田理事)

- ・ 熊本県の教育施設協議会にて教育現場で連盟に理解を求める。
- ・ 学校の先生の方々に学校の協議会等で連盟へ入会を求める。(小林相談役)

(ケ) 事務局 (田村事務局長)

① 事務局の現状報告

- ・ 議連発足に伴い都内での活動が活発化してきたので可能な限り日臨工内に事務局を設置が望まれる。
- ・ 未納会員 250 名ほどに可能な限り直接連絡と都道府県技士会を通しての連絡から、来季は未納者が 100 名を下回るように取り計らう。

② 次回開催日

- ・ 理事長と相談の上で開催日、内容を報告する。

③ その他

- ・ 会員向けに連盟情報や入会者数、入退会管理としてなどアプリの**利用**について (小林副理事長)

4. 閉会